

祝島みどころマップ

小祝島

不老長寿 コッコ
 キウの原種といわれ、島に自生する「コッコ」は、親指ほどの大きさながら、1粒食べると1000年長生きするとか、この不老長寿の果を探しに来たといわれる「徐福伝説」も有名です。

氏本農園
 持続可能な循環型農業に力を入れ、豚を飼育しています。雑草を食べて、火田を耕してくれるという働き者の豚さんたち... 元気いっぱい豚さんに会いにゆきましょう。

平さんの棚田
 親子三代で作りあげた美しい棚田。「谷積み」という手法で積みあげられた石垣は、数トンもある巨石から小石まで、理想的な西列がなされています。石垣の最も高いところは9mもあり、そこからの眺めは絶景。

シーグラスの浜
 この海岸は潮流が速いので、石などとぶつかりあって、角がとれ、まあるくな、Tグラスのかけらを「シーグラス」といいます。波うちまわでキラキラと、まるで宝石のようにきれいです。

スナメリの泳ぐ海
 スナメリは、世界で一番小さなクジラです。数かりなくなると言われまわが、透きとおる程に美しい祝島の周辺の海では、以前と変わらず多く、春から夏にかけては、子連れの群れも見えます。

喫茶 食堂	わた家	こいわい 食堂
090-7544-8169	0820-66-2231	
営業時間	10:00~17:30	11:00~14:30
定休日	日	火・水・木
メニュー など	エー・紅茶 スコーン・うどん カレーライス 日替わり定食	こいわい定食 1000円・予約 連絡は 10:00~15:00

神舞 (かんまい)
 今から1200年余り昔、京都より帰途の大分の神官たちが嵐に遭難の際、祝島の人が助け、手厚くもてなしたそうである。お礼に五穀の種を分け、農耕と神を祀ることを伝えられたことで、島の生活が向上したことに感謝し、毎年8月祝島から大分へ「お種もとし」と参拝。4年に一度の「神舞」は、島に招かれた神官たちとの合同神事。勇壮な海上神事と石式豊かたの神楽舞が奉納されます。

練塀 (ねりへい)
 石と土を積み重ね、しっくい固めた祝島独特の塀は「練塀」と呼ばれ、江戸時代後期より作られ始めたと言われています。夏は涼しく、冬はあったかい... 家と一体化したような、この練塀は、吹きさらし強い海風や台風などからも軒の家だけでよく、集落そのものを守ってくれます。また、防火の役割も果たされ、補修されながら、今もその街並は守られ、受け継がれています。

万葉の島
 祝島は、古来行き交う船の航行安全を守る神霊の鎮まり給う島として崇められてきた「神の島」であることは、昔にも多く知られ、万葉集にも登場します。島には、この二首を刻いた石碑もあり、歴史とロマンを感じます。

祝島の特産品
 祝島ひしき、寒干し大根、びわ茶、無農薬びわ、みかん、コッコ、石豆腐、おもち、みかん、干しタコ、サリの一徳干し、どれも愛情たっぷり... まじまじありまらば

